

青葉奨学会、台風被災者に学用品支援

昨年 12 月、ベトナム南部に上陸した台風は甚大な被害をもたらし、多くの奨学生も被災しました。青葉奨学会は、緊急支援として学用品を配布しました。この支援には、ベトナム子供基金とともに青葉奨学会沖縄委員会からカンパを送っています。今回、沖縄委員会の村田さんからレポートを寄稿いただきました。(編集部)

カンザーの被災学生への支援

村田 光司

昨年 12 月 4 日から 5 日にかけて、台風 21 号 (アジアの共通名は「台風ドリアン」) がベトナム南部に接近、上陸し、大きな被害をもたらしました。

日本ではほとんど報道されませんでした。ベトナムの新聞報道 (電子版) によると、この台風による被害状況は死者・行方不明者が約 100 人、負傷者が 1400 人以上、全壊した家屋 4 万 2000 棟、屋根が吹き飛んだり半壊した家屋 17 万 8000 棟という、かなり大規模なものでした。

最も被害が大きかったのは、沿岸部のバーリアブントウ (Ba Ria-Vung Tau) 省やベンチャー (Ben Tre) 省です。ベトナム子供基金の支援によって 6 年前に建設されたベンチャー省のルオンホア (Luong Hoa) 小学校でも、校舎の屋根が吹き飛ばされた、ということです。

ベトナム接近時、台風の勢力は特別強くはなかったのですが、ベトナム南部は



めったに台風の来ない地域で、暴風雨に対する備えがほとんどなかったため、大きな損害を出す結果になったようです。

ホーチミン (Ho Chi Minh、以下 HCM) 市の南東に位置するカンザー (Can Gio) 郡でも、大きな被害が発生しました。

カンザー郡人民委員会によると、5 万人あまりの住民のうち約 2 割の人々が被災したということですが、その中でも、離島にあるタンアン (Thanh An) 村や、海に面したロンホア (Long Hoa) 村に被害が集中したようです。

この 2 つの村には、青葉奨学会沖縄委

今年の会員総会は 5 月 19 日 (土)、アジア文化会館で開催いたします。開催通知は 7 ページ。

員会が支援している奨学生 30 人余りが暮らしています。青葉奨学会 HCM 事務局に現地の状況を確認してもらったところ、タンアン中学校に通う 10 人の奨学生のうち 9 人の家の屋根が吹き飛ばされるなど、ほとんどの学生たちが被害を受けており、特に数人の学生の家は全壊して家族が大変困っているということでした。ただ、幸いなことに台風によって学生が負傷したといった情報は受けていません。

報道によれば、行政機関をはじめ、団体や企業などによる復興支援の活動が盛んに取り組まれているということでしたが、被災者のほとんどはもともと経済的に厳しい生活をしてきた方々ですので、困難な状況が続くものと予想されました。

青葉奨学会はこれまでも、台風や洪水など大きな災害があった際、被災地の学生たちに学用品や緊急支援物資を送る活動を行ってきました。今回の台風では、多くの奨学生が暮らしている地域で甚大な被害が起きたこともあり、沖縄委員会がカンパを送ることを決めました。

青葉奨学会で取り組むことができ、被災した学生たちに役に立つ支援ということで、ノートなどの学用品を送ることにし、HCM 事務局とドンズー日本語学校に学用品の購入と引き渡しを依頼しました。沖縄委員会の会員、関係者のほか、子供基金の緊急支援基金と会員の方からも多くのカンパを寄せていただき、1 月 11 日に総額 25 万円をベトナムに送金しました。

1 月 25 日、HCM 事務局のミー・ハン(My Hanh)さんはじめ 6 人の方々が、カンザーを訪ねて学用品を配布してくれました。タンアン村にあるタンアン小学校、タンアン中学校、ロンホア村のホアヒエップ(Hoa Hiep)小学校、ロンホア中学校の合計 1518 人の児童、学生たちに、それぞれノート 10 冊とボールペン 1 本ずつを配る

ことができました。ご協力くださった多くの方々に、心より感謝を申し上げます。

報告によると、カンザーでは家の再建や修復が順調に進んでおり、避難していた方々もとりあえず自宅に戻れるようになった、ということです。被災した学生たちの家庭でも、なんとか無事にテト(旧正月)を迎えることができたようです。

カンザーはドンナイ(Dong Nai)川の河口部に位置する地域で、多くの住民は沿岸漁業や貝・カニ捕り、塩作りなどで生計を立てています。しかし、最近では HCM 市の都市化の進展に伴って川や海の汚染が進み、魚や貝の収穫が減ってきているそうです。また、タンアン村では数年前にも高潮で大半の家が浸水するなど、自然災害も頻発しているようです。多くの漁民の生活はより厳しくなっており、仕事を求めて HCM 市内に移り住んだり、出稼ぎに行ったりする人も増えていると聞いています。近年、ベトナムの経済発展が注目を集めていますが、負の側面も同時に拡大しつつあるように思えます。

ところで、ミー・ハンさんが送ってくれた報告の写真の中に、元青葉奨学生のグエン・スアン・ホン(Nguyen Xuan Hong)さんの姿がありました。ホンさんはカンザー郡ビンカン(Binh Khanh)村の出身で、2001 年に経済大学を卒業、その後は CEP 基金という団体のカンザー支部の職員として、故郷の貧しい人たちの経済的自立のために働いています。青葉奨学会の活動もときどきサポートしてくれており、今回も手伝ってくれたようです。私も彼とは 2 度ほど会ったことがありますが、とてもおだやかで心優しい青年です。青葉を巣立っていった若者たちが、地域に根ざして地道に頑張っている姿に、学ばされる思いがします。

(青葉奨学会沖縄委員会・むらた こうじ)

奨学金授与式スピーチより

■奨学金は勉学のために

チャン・ゴック・リン

私は青葉奨学会への思いを発表させていただけることを大変うれしく思っています。

まず里親の今井幸恵様と青葉奨学会事務局の皆さまに、私が7年生のときから奨学金をご援助くださったことを深く感謝申し上げます。

毎回奨学金を受け取るたびに誓っていたことは、奨学金の使い道はただ一つ勉学のためであるということでした。

奨学金のおかげで、日ごろの勉強をさらに深めるためや大学入試の受験勉強のために難しい本を購入することができました。

私は里親さまにお手紙を差し上げ、里親さまからは日本の国のことを紹介する手紙をちょうだいしました。青葉奨学会を通し

て私と里親さまは現在も連絡を取り続けています。

私はホーチミン (Ho Chi Minh) 市に行く機会があったとき、青葉奨学会に立ち寄り、先生方に心からお礼を申しあげました。ドンズー日本語学校の中にある青葉奨学会の小さな部屋を訪れたとき、ホン・リエン先生や会の先生方が本当に心から温かく接してくださったことに感謝申し上げます。

青葉奨学会のおかげで、私はドンズー日本語学校が日本留学のチャンスを与えてくれたことを知りました。大学に進学するか、目の前にさまざまな困難や障害があるドンズーに入るかという選択の前に立ったとき、私はグエン・ドク・ホウエ校長先生の理念によってドンズーを選びました。

私はこれからも一生懸命勉強し鍛錬します。また、皆さんも私と一緒にドンズーの理念とともに生きてほしいと願っています。

最後に青葉奨学会が貧しいけれど優秀な

■日本で会うのを楽しみに

今井 幸恵

リンさん、こんにちは。お元気ですか？私と愛犬ロッキーは元気です。リンさんの日本語の勉強はどうですか。この前リンさんがくれた日本語のメールは、とても上手でしたよ。日本語は難しいかもしれませんが、しかし、新しい外国語を勉強することは、新しい世界を知ることだと私は思います。

先日ベトナム料理を作り、うちで友だちと食事会をしました。リンさんと会ったときにリンさんがくれたライスペーパーとえびせんを使いました。みんなとてもおいしいと言っていました。ナムディン (Nam Dinh) のリンさんのおうちに伺ったとき、お母さんが作ってくれたバインクオン



(banh cuon=蒸し春巻き) がとてもおいしかったことをよく思い出します。リンさんが日本に来たら、ぜひ私にベトナム料理を教えてください。

今度は日本でリンさんに会えるのを楽しみにしています。

(運営委員・いまい ゆきえ)

学生たちを援助するために今後ますます発展するようお祈り申し上げます。

(Tran Ngoc Linh)

* * *

■学校に行けることが喜び

ヴォー・ティ・ティエン

私はビンタイン (Binh Thanh) 区 11 地区ファンヴァンチ (Phan Van Tri) 小学校 4 年 C 組のヴォー・ティ・ティエンと申します。

本日、私は生徒を代表して、先生方ならびに里親の清水有高様に感謝申し上げます。

私は 4 人きょうだいの家に生まれました。私の父は清掃作業員で母は家政婦をしています。6 人家族ですが両親の収入に頼るしかないので私の家は大変苦しい状態です。二番目の姉はグエンヴァンベ (Nguyen Van Be) 中学校の 7 年生ですが、母と一緒に働くため学校を辞めなくてはなりませんでした。

苦しいながらも両親は私や兄のバー (Ba)、姉のトゥ (Tu) を学校に通わせようと懸命に努力してくれています。兄のバーは今職業訓練校に通っています。姉のトゥはファンヴァンチ小学校の 5 年 C 組です。家計が苦しいので私は自分がもう学校に通えないのではないかと考えていたことがあります。

しかし青葉奨学金をいただけるようになったおかげで私は今も学校に通い続けることができます。先生方や里親さまが私に奨学金をくださったことを、本日私は大変感謝申し上げます。すべての皆さまに喜んでいただけるよう、これからも一生懸命勉強しよい子であることをお約束いたします。

(Vo Thi Tien)



■元奨学生のあいさつ

ファム・ロン・トウイ・チュック

私は青葉ファミリーから成長した子どもの一人です。私の現在の仕事は、ホーチミン (Ho Chi Minh) 市記者会に所属し、雑誌「新聞界」デザイン部の社員であるとともに、油絵を製作する画家でもあります。

本日、この式典に参加させていただいてまず何よりも申し上げたいことは、自分の人生に欠くことのできない一部分である自分の家族、そして私自身は第二の父だと思っている里親の吉松繁利様、青葉奨学会の先生方に、心から感謝の言葉をお送りしたいということです。

多くの方々が大変長い間私のそばにいてくださり、私が学業の道を全うしきる気力を持ち続けられるようずっと応援し味方してくださいました。

さてこれから青葉奨学金を受け取られている後輩の皆さんに少しお話しさせていただきます。

青葉奨学金を受け取られている親愛なる後輩の皆さん。家族や里親さま、青葉奨学会の先生方のご援助と愛情以外に、私は、今日のようになれるように自分自身でとてもたくさん努力してきました。家族や青葉奨学会の先生方、里親さまのご信頼と愛情

を裏切ることなく社会に役立つ人間になるために、人生のハードルを乗り越えるために奮闘してきました。

私は、皆さんも全力を尽くして努力し、自信を持って成長し社会に役立つ人間になっていただきたいと大変期待していますし、皆さんならできると信じています。

さあ皆さん、自信を持って、止まることなく頑張っていきましょう。

最後に先生方ならびにご来賓の皆さま方の新しい1年のご健康とお仕事でのさらなるご成功を謹んでお祈り申し上げます。後輩の皆さんが新しい1年をさらに楽しく過ごし、良い成績を取りますように。

心から感謝申し上げますとともに私のあいさつを終わらせていただきます。

(Pham Long Thuy Truc)

* * *

■青葉奨学会代表のあいさつ

グエン・ドク・ハウエ

例年と同様、本日私たちは2007年前期青葉奨学金授与式を挙行政いたします。毎年、授与式は統一会堂において盛大に開催されてまいりましたが、今年は趣きを変え、すがすがしい自然環境の中で皆さんにのびのびと集団活動をしていただきたいと思います。そのため、儀式的部分はできる限り簡素化したしました。来賓のお客さまに関しても同様です。直接奨学金をご援助くださっている里親の皆さまだけに限らせていただきました。皆さま、どうかこの突然の変更の数々、ならびに進行上のさまざまな不手際をご容赦くださいますようお願い申し上げます。

あと約1カ月で青葉奨学会は、1992年4月に青葉と改名し活動を開始したときから



数えて丸15年を迎えます。

思い返せば当初奨学会は、留学生の保護者が寄付してくださった資金でわずか3名の奨学生しかいませんでした。私たちの奨学会は急速に発展してきました。2006年、私たちは1050名に青葉奨学金を支給しました。15年間の間に私たちはさらに2つの奨学会をも設立しました。黄梅基金とドンズー・フィンデ(Huynh De=兄弟)奨学金です。これら以外にもOKAMOTO、Rotary Club、Better Home女性会などの奨学金の管理も行っています。昨年の奨学金支給総件数は3000件近くに上りました。

奨学金の支給運動以外にもドンズー奨学会は、へき地の学校のまだない地域に学校を建設する運動を日本の皆さまとともにを行っています。2006年1年だけで、ロンアン(Long An)省とドンナイ(Dong Nai)省に2つの学校を建設し、これまでの実績は14校になりました。奨学会は毎年「春の木」運動を行い、数千着の制服を貧しい学生に支給しています。

そしてそれらに劣ることなく誇れるものは日本への留学生派遣活動です。2006年だけで133人の学生を派遣することができました。これまでに留学した学生の総数は442人に上ります。今後この数字はさらに数多くなることが期待されます。

ドンズー奨学会の活動は現在各国に広がりを見せ、ベトナムとともに日本でも数多

くの人々に知られています。

青葉奨学会の15周年にあたり、奨学金を受領している学生たち、建設された学校で現在学んでいる学生たち、留学することができた学生たちならびにこれらすべての保護者、ドンズー奨学会事務局を代表し、国内外の友人の皆さま特に日本の友人の皆さまに対して、ベトナム教育界への尊いご援助に心から感謝申し上げます。私たちはご恩をいつまでも胸に留めています。

皆さんのように小さかったころ、私はいつも夢を持っていました。勉強して良い成績を取り上の学校に進んで外国に留学し、進んだ知識を学んでベトナムに帰り、道路や橋、工場を建設して同胞のために数多くの仕事を生み出し、国がますます豊かになることを夢見ていました。皆さんは私のように夢を持っていますか？ 皆さんはどんな夢を持っていますか？

皆さん、私たちは夢を持たなくてはなりません。夢はいつも美しいもので、夢は私たちを勉強や仕事に熱中させてくれるからです。夢は、私たちがつまずいたとき立ち上がらせてくれます。本当に高い夢を持つ



てください。自分や他の人にとって何よりも素晴らしい夢を持ってください。国家の発展をもたらし、周りの人々に温かな幸福をもたらすような夢を持ちましょう。

私は、皆さんがベトナムの国家を建設する人材になってもらいたいと思っています。それは私の願いであり里親の皆さまの願いでもあります。今日私は皆さんにこの夢を託します。皆さん夢を実現して私に聞かせてください。最後に、間もなく新年を迎えるにあたり、里親の皆さまならびに先生方、学生の皆さんのこの1年のご健康とご成功をお祈り申し上げます。

(ベトナム青葉奨学会代表・Nguyen Duc Hoe)



会 員 各 位

2007 年 4 月 21 日

ベトナム子供基金
代表 近藤 昇

定期会員総会招集のご通知

拝啓 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素はベトナム子供基金の活動に温かいご支援を賜りお礼申し上げます。
さて、下記のとおり 2007 年定期会員総会を開催いたします。
ご多忙中恐縮ですがご出席いただきたくご通知申し上げます。

敬具

記

日時 2007 年 5 月 19 日（土曜日）午後 2 時から 4 時
場所 アジア文化会館教室
東京都文京区本駒込 2-12-13
電話 03-3946-4121（代表）

議題

- 1 号議案 2006 年活動報告
- 2 号議案 2006 年決算報告及び会計監査報告
- 3 号議案 2007 年活動計画案
- 4 号議案 2007 年予算案
- 5 号議案 運営委員選出及び承認

ゲストスピーカー

ベトナム人留学生 ヴ・クオン (Vu Cuong) さん

ベトナム人留学生 ファム・ティ・マイ・フォン (Pham Thi Mai Huong) さん

テーマ 日本に留学して思うこと

マイ・フォンさんにはベトナム民族舞踊を踊っていただきます(写真)。



会員総会は会員の三分の一以上の出席をもって成立しますが、全国各地にいらっしゃる会員が総会にご出席いただくには大変ご無理な状況にあります。この現状から総会当日、欠席なさる方で委任状提出のない方は議長一任とさせていただきます。ご理解とご協力お願いいたします。

なお、総会出欠はがきにご記入の上 5 月 10 日までに切手を張ってご返信ください。

以 上

2006 年活動報告

おかげさまで 2006 年は無事活動計画が達成できました。会員皆さまのご協力に深く感謝申し上げますと同時に今後の温かいご支援を重ねてお願い申し上げます。

06 年はベトナム青葉奨学会に総額 1102 万 8587 円の支援ができました。内訳は、青葉奨学生への奨学金 406 人分 447 万 3277 円と黄梅基金 555 万 8000 円です。黄梅基金はロンアン省フーティン小学校とドンナイ省バウフン小学校 2 校の建設契約が実現し、07 年の開校を待っています。学校建設にご協力くださった皆さまに厚くお礼申し上げます。黄梅奨学基金は 06 年、67 万 8000 円が加わり総額 829 万 3000 円になりました。06 年は預金利息分から農村、漁村、山岳地域の恵まれない子どもたち 579 人に黄梅奨学金の支援ができました。

ベトナム子供基金通信は 34~37 号を発行しました。ベトナムの子どもたちが学業に精進している様子や将来に対する希望などを皆さまにお伝えできたことと思います。

第 4 回スタディーツアーは会員 7 人で 6 月 15

日から 22 日の 8 日間、北部、中部、南部へ行きました。各地で行われた青葉奨学会主催のサマーキャンプに参加し奨学生 210 人と楽しく交流ができました。里子の面会も行い有意義なスタディーツアーでした。

子供基金ホームページをリニューアルしました。ベトナムの子どもたちの様子が少しでも多くの人々に理解され、温かいご支援とご協力がいただけることを期待します。

06 年の新規会員は 12 人、うち 7 人 20 口が里親基金の会員です。長いお付き合いを心からお願い申し上げます。

06 年収支決算のとおり、里親基金と賛助金が予算オーバーし、黒字決算ができました。繰越金は 227 万 7454 円になり 07 年の財源にします。06 年も経費を削減し青葉奨学会支援総額に対する経費金額を圧縮する努力をしました。

運営委員会は毎月第 3 土曜日に運営委員と会員の出席で開催されました。里子の履歴票と手紙の翻訳はボランティアの皆さまのご協力で大変スムーズに行われました。感謝申し上げます。

06 年が無事に終わりましたことを会員、関係者の皆さまにお礼申し上げます。

■2007 年活動計画（案）

2007 年は、子供基金が受け持つ青葉奨学生（里子）は 413 人です。青葉奨学生が安心して学業に精進できるよう奨学金支援を継続いたします。黄梅奨学基金では農村や漁村、山岳地域の恵まれない子どもたち 600 人以上に奨学金支援を行います。学校建設黄梅基金では 06 年に契約したロンアン省のフーティン小学校とドンナイ省のバウフン小学校の開校が実現いたします。子どもたちが新しい校舎で楽しく勉強できることを期待しています。

00 年に建設したベンチャー省ルオンホア小学校は 06 年の台風 21 号で屋根が吹き飛ばされる被害が発生しました。青葉奨学会はすぐ応急処置の資金を現地に支援しましたが完全には復

元されていません。会員皆さまのご理解とご協力で復元工事を行います。

ベトナム子供基金通信は奨学生を中心にベトナムの教育事情を皆さまにお伝えします。会員皆さまのご要望やご意見をいただきより良い通信が発行できるようご協力をお願いいたします。

06 年はホームページをリニューアルしました。多くの人に子供基金を理解していただき、活動に参加してくださることをお願いいたします。ホームページは定期的に更新します。

07 年は経費予算管理を徹底し少しでも多く金額が青葉奨学生支援のために使われるよう努力いたします。

子供基金はボランティアの皆さまのご協力で運営されています。皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

収支計算書

(自2006年1月1日 至2006年12月31日)

2007年予算(案)

項目	A2006年予算額	B 2006年決算額	B-A 差額	2007年予算(案)
* 収入				
当期里親基金(一般)	5,280,000	5,733,000	453,000	5,840,000
当期里親基金(学生)	20,000	0	▲20,000	0
当期一般基金	350,000	216,000	▲134,000	250,000
当期賛助金	350,000	690,000	340,000	500,000
黄梅基金	5,500,000	5,218,000	▲282,000	500,000
利息 その他収入	0	997,419	997,419	0
当期総収入	11,500,000	12,854,419	1,354,419	7,090,000
前期繰越額	1,474,476	1,474,476	0	2,277,454
収入合計額	12,974,476	14,328,895	1,354,419	9,367,454
* 支出				
奨学金	4,600,000	4,473,277	▲126,723	4,800,000
ベトナム黄梅基金	5,500,000	5,558,000	58,000	1,300,000
その他支援	0	997,310	997,310	110,000
支援金額合計	10,100,000	11,028,587	928,587	6,210,000
経費				
郵送費	227,200	207,800	▲19,400	227,200
事務所費・会議費	99,384	93,584	▲5,800	99,384
印刷費・コピー費	148,500	142,674	▲5,826	177,000
通信費	37,200	28,341	▲8,859	37,200
年会費・参加費	0	0	0	0
備品・消耗品購入費	40,000	41,690	1,690	40,000
スタッフ活動費				
ホーチミン事務局	120,000	0	▲120,000	0
東京事務局	360,000	360,000	0	360,000
損害保険	0	0	0	0
交通費(ホーチミン)	50,000	27,600	▲22,400	0
交通費(東京)	78,000	45,100	▲32,900	78,000
雑費・振込み手数料	40,000	76,065	36,065	60,000
当期経費支出額	1,200,284	1,022,854	▲177,430	1,078,784
当期収支差額	1,674,192	2,277,454	603,262	2,078,670
* 当期繰越金差額	1,674,192	2,277,454	603,262	

流動資産

普通預金	みずほ銀行駒込支店(一般口)	1,841,658
	みずほ銀行駒込支店(黄梅口)	118,304
	みずほ銀行駒込支店(nifty)	32,203
郵便振替口座	文京グリーンコート(一般口)	217,829
郵便振替口座	文京グリーンコート(黄梅口)	59,865
郵便貯金	文京グリーンコート	7,595
現金		0

緊急支援	(円)
基金収入	0
前年繰越金	66,472
基金支出	0
次年繰越金	66,472

■里子からの手紙

奨学金で手に入れた道

グエン・ティ・ゴック・アイン

手紙の始めに先生方にご健康をお伺い申し上げます。あいさつをお送り申し上げます。

私はカントー (Can Tho) 大学英語教育学部の学生です。先日 8 月 31 日に私は卒業証書を授与されカントー大学で学生を教えることになりました。

今私は先生方に謹んで心からの感謝の言葉をお送りしようと思いこの手紙を書いています。

今まで 3 年間にわたって幸運なことに里親の皆さまからの奨学金を受領させていただけるよう、先生方の熱心な援助を受けることができました。

正に先生方ならびに里親の皆さま方の援助によって私はさまざまな困難を乗り越え、学業を継続し、今日を迎えることができました。先生方ならびに里親の皆さまに心から深く感謝申し上げる以外言葉もございません。

今回、私の学業成績ならびに卒業式のときの写真 3 枚を同封させていただきます。

敬愛なる先生方、カントー大学で教えることができるようになったことは、私には本当に思いがけないことで大変喜んでいきます。しかしながら、その職務につくことができるようになるためにはさらに勉強を続けなくてはなりません。

現在私はフランス語を勉強していて、来年 5 月に大学院の試験を受けます。まだ多くの困難がありますが、一生懸命勉強して本当に上手に教えることができるようになりたいと思います。

もう一度改めて私と私の家族は里親の皆さまならびに先生方に感謝申し上げます。

里親の皆さまと先生方のご健康とご成功、ご多幸をお祈り申し上げます。

(Nguyen Thi Ngoc Anh)

* * *

国境を越えた共感

ダン・ティ・マイ

私はレホンフォン (Le Hong Phong) 高校 11 年 E 組の学生です。

私は今まで何年間も奨学金の支給を受けてまいりました。その間奨学金のおかげで私と家族の生活はやっと苦労が減りました。

私の家の経済状態はとても苦しいです。6 年生になったとき、私の父は病気で突然亡くなりました。母と 4 人の幼い子どもと 70 歳すぎの年老いた両親が残されました。夫を失った私の母は悲しみに倒れんばかりでしたが、4 人の子どもと年老いた両親のことを考えて悲しみを押し込め、家族を養うために立ち上がりました。

物に事欠く苦しい生活は母にとっては重荷でした。母は朝早くから深夜まで私たちを学校へ通わせようと懸命に育ててくれました。しかし不幸はこれにとどまりませんでした。私の姉が難病にかかり、治療できる場所を探し回りましたが治りませんでした。姉はどんどん具合が悪くなり、それにつれて母も日増しにやつれていきました。

母は治療費のために借金をしましたが、思い通りにはなりませんでした。一番上の姉は家庭の事情を理解して、家で母を手伝い妹たちの面倒を見るため大学進学を諦めました。祖父母も病気がちで、あまりに苦労している子どもを痛ましく思い憔悴 (しょうすい) しています。私の家族の生

活は崖っぷちに立たされているようなものです。

そんなとき、里親さまの親切で思いやりのあるお気持ちが私と私の家族のところに届きました。里親さまはまるで私を守る神様であるかのように現れました。私と家族に対する里親さまのご援助は非常に大きなもので私の家族は苦労が軽減し、家計の助けとなりました。それは私に学業で頑張り良い成績を取るためのやる気を起こさせました。血が繋がっているわけでも言葉が同じわけでもないのに、里親さまの愛情は遠く離れた二つの国の国境を越え私のような子どものところへ届きました。これこそが人間と人間の間で分かち合われる共感というものです。

新学年の11年生が始まりました。大学の関門も近づいてきました。私の中にはさまざまな思いと夢があって胸が焼け付くようです。苦しいことだらけだった幼い日々を補うために、私は自分の両手で一つの事業を成し遂げ、名のある人物になりたいと思っています。

でも里親さま、私の最大の夢が何かお分かりになりますか？ それは私の里親さまの生まれ故郷、桜の国日本に一度でいいから行ってみたい、ということです。日本は世界の中でも豊かな国の一つであることを私は知っています。そちらへ行って、日本の成果を吸収し経験し勉強したいと思います。そしてベトナムに帰国した後祖国の発展を手助けしたいと思います。

(Dang Thi Mai)

*

父の姿を思い浮かべながら

グエン・ティ・ホン

私は父がいない家庭に生まれ育ちました。今まで一度も父の顔を見たことがなく声を聞いたこともありません。父は私がまだ母のお腹の中にいるときに亡くなりました。

私の人生はさまざまな不幸に見舞われました。生まれたときから片親と呼ばれることになったのです。今私は母方の祖母と母と姉と暮らしています。家族の中で母が、すべての困難で苦しい仕事を背負わなくてはならない人物、本来なら父がしなくてはならない役割である一家の大黒柱となっています。

祖母は70歳を過ぎ体が弱く病気がちで病状は日増しに重くなっています。姉と私は一日中学校に行かなくてはならないので、仕事はすべて母のところにしわ寄せされてきます。

私たち姉妹を学校に通わせるために、母一人がわずかな稼ぎにしかならないのに働かなくてはならず、同時に家事を担わなくてはなりません。祖母と母のことを考えると私は本当に自分が情けなくなります。

里親さま。私は父親の愛情を欠く生い立ちで、想像の中で父のことを考え、私にほおずりしたり抱っこしてくれたり冗談を言って笑わせたり、家族と一緒に私を育ててくれる父の姿を思い浮かべます。

でもそれは想像にしかすぎません。何よりも残酷なことは私が片親の子どもであるということで、父からの愛情が欠けている子どもだということです。それだからこそ、祖母、母、姉、親せきそして里親さまに喜んでいただけるように、家事を手伝い母を助け、一生懸命勉強して良い成績を取り、学業に奮闘する決意をますます強くしているのです。

私の一番の夢は里親さまのようになることです。さまざまな困難に遭っている子どもたちを常に助けるのです。一生懸命真面目にどの科目も勉強することを私は常に自覚しています。

学校では先生の講義を注意深く聞き、家に帰ってから問題をたくさん解きます。それに加えて国語の文章問題をやったり、難しい数学の問題を解いたりします。分からないことがあるときは教室ですぐに先生に質問します。自分の知識を広げるのに役立つ資料を見つけます。ですから今までの10年間私はいつも学校の非常に優秀な学生であり、郡の非常に優秀な学生となってきました。

私は敬愛するホーおじさんの故郷で、自然科学系を専門に学習しています。私は将来成功した名のある人になり、素晴らしい故郷と祖国の建設をすることを夢見ています。そしてそうなったときには、不幸な人生の人々を、両手を広げて迎え悲しみをもに分かち合い援助したいと思います。

そのとき、自分のさまざまな夢や望みが実現するのです。それは祖母や母、姉を生涯にわたって扶養することであり、私を慰め励ましてくださったすべての方々との喜びを分かち合うことです。

里親さまが送って下さる資金を私はいつも正しく使っています。本やノートを購入することができ、母を助けることができます。それは母が私たち姉妹に与えてくれるすべてのものを手助けしてくれます。

遠く離れたこの地で、私は里親さまがいつも私のことを、ベトナムの田舎に住む一人の貧しい学生のことを思ってくださいることを願っています。

里親さまが私と家族にもたらしけてくださった物質的・精神的ご援助に対していつも深く感謝しています。

手紙の最後に、もう一度改めて里親さま

とご家族さまならびに青葉奨学会事務局の先生方のご健康とご安寧ご繁栄を謹んでお祈り申し上げます。

私と同じような困難な境遇にある者をいつも心を開いて受け止めてくださいますように。いつまでも里親さまのことを愛しています。

(Nguyen Thi Hong)

* * *

奨学金で夢が現実に

フィン・ファム・トゥアン・アイン

12月の初旬のホーチミン (Ho Chi Minh) 市は涼しくなってきました。それは1年が間もなく終わり新しい年がやって来ることを告げる印です。時間が過ぎるのは本当に早いものです。

里親さまがずっとご援助くださってきた小さな子ども間もなく大学を卒業し、ベトナム国家の発展を担う人材となるのです。

2007年1月に私は大学を卒業し、仕事を始めます。来年はもう里親さまの奨学金をいただくことはありません。

今までの里親さまのご援助を私は決して忘れません。私は今でも奨学金を初めていただいた日のことを覚えています。それは私が7年生のときのことでした。現在に至るまで9年間が過ぎました。9年間も里親さまは私の側にいてくださり私が今日のように成長できるようご援助してくださいました。

里親さまが側にいてくださりご援助くださったことによって、私にとってただの夢だったかもしれないことや考えるだけだったことがいろいろ現実になりました。

私は交流のために日本に行くことができ、里親さまのご援助によって勉強にかかる費用を賄うことができました。

現在私は卒業論文の報告準備をしています。そして青葉奨学会のお手伝いもしています。私は、里親さまが私にしてくださったのと同じようにするつもりです。青葉奨学会で一人の学生を援助し奨学金を支給するつもりです。

来年は学校を卒業するので、私はもう里親さまの青葉奨学金をいただくことはありません。しかし里親さまのお姿は私の頭の中に自分の第二の父としていつまでも存在し続けます。

この手紙が早く里親さまの手に届くよう願っています。里親さまとご家族の皆さまのご健康をお祈り申し上げます。いつも皆さまが喜びにあふれ、たくさんのご幸運に恵まれますように。

(Huynh Pham Tuan Anh)

* * *

台風に負けずに

グエン・ティ・フン・ティン

11月20日に私の学校では、ベトナム教師の日を祝う会が行われとても楽しかったです。各クラスがさまざまな出し物を行いました。舞踊のクラスもあり、歌のクラスもあり、ダンスパフォーマンスをしたクラスや劇を行ったクラスもあったのですよ。今年10年生の何人かはすごく扮装（ふんそう）がうまかったんです。

里親さまはこの前の手紙で私がお話した友人のことをまだ覚えていらっしゃるでしょうか。その友人は、今は学校を辞めてしまったのです。その子の病気は一向に良くなら

ず、段々悪くなっていきました。その子は何日か学校に復帰したのですが、先生方が学校を辞めたほうがよいと勧め、始めはその子も従わなかったのですが、その後、家族が家に連れ帰ろうとやって来たので、すごく泣いていました。とてもかわいそうでした。

今日、私はすごく悲しいです。現在、私の住んでいる場所やこの辺りの一帯は台風9号の到来を待ち受けているからです。待っている、というのは本当はおかしいですよ。でも本当にここに住んでいる人たちは1分1秒、台風がどうなるのだろうかとか大変恐れています。気象台は、今晚台風が大雨と風力レベル8から9の風を伴ってやって来ると予想しています。

今日の朝礼で校長は全校学生に向かって、ここの家屋は風力6にしか耐えることができないから、80%の家屋に被害が出るだろうと告げました。私の家やこちらの人々は皆とても心配して、台風が来ても自分の家がしっかりと壊れないようにするために、木材や縄や土のうで家を補強しています。

こんなに強い台風がやってくるのは初めてで、台風に対する予防も備えも経験したことがないのです。教育省が明日は休校の決定を出したので、私は明日休みです。今、私の家は豆の収穫期ですが、台風に遭ってしまって私はとても悲しいです。台風が過ぎ去った後すべてのものが消えうせてしまっているのではないかと心配しています。

今は、タイニン（Tay Ninh）省や台風が通過する地域での台風の被害がそれほどひどくならないことを祈るばかりです。

手紙が長くなりましたので、筆を置かせていただきます。里親さまがいつも楽しくお元気にお過ごしになりますように。そしてぐっすりお休みになって素敵な夢をご覧になりますように。

(Nguyen Thi Phung Thanh)

■里子訪問

上月浩

1月1日、フンイエン (Hung Yen) 省にいる里子のダオ・ティ・ヘ (Dao Thi He) さんに会いに行ってきました。連絡も取らずに直接行ったのですが、なんとか家を探し出して会うことができました。

彼女はとても物静かな女の子でしたが、一生懸命勉強している様子がよく見て取れました。

家は田舎町の貧しい家でしたが、ベトナムの基準で見るともともと貧しい環境の子どもたちが多く、彼女はまだ幸せな方かもしれません。

これから大学進学をどうするかをまだ決めかねているようです。

(こうづき ひろし)



左から、へさんの母親、へさん、上月氏、へさんの兄

■事務局便り

おかげさまで 2007 年の活動が無事スタートいたしました。07 年の青葉奨学生 413 人が確定し、1 月 21 日 (日) に第 1 回奨学金授与式が厳粛に行われました。今年の奨学生は継続 320 人、新規 93 人でした。

里親と里子の組み合わせも無事終わりました。里親の皆さまの温かいご支援をよろしく願いいたします。里子は里親の皆さまの手紙や写真を待ち望んでいます。お忙しいと思いますが、簡単な手紙やご家族の写真などお送りいただきたく、重ねてお願い申し上げます。

子供基金では特定の里親が決まっていない里子が 100 人以上います。この里子たちに里親を募集いたしております。ご友人、お知り合いの方でご協力いただける方をご紹介ください。お願いいたします。(飯田)

子供基金通信の印刷発送費用の削減

会員皆さまに年 4 回お届けしています「子供基金通信」の経費削減を行いました。

1つは会員皆さまへの発送を「ヤマトメール便」にしました。このメール便は、角 2 封筒 (A4 判が折らないで入る大きさ)、厚さ 10mm まで全国一律 80 円です。子供基金は現在、特別割引で 1 通 70 円です。

2 つ目は印刷コストの削減です。B5 判の通信は印刷後の折り加工が不要になりました。

その結果年間 2 万円の経費を削減しました。

会員の皆さまには定形外の封筒で郵送料が増加していると感じられた方がいると思いますが、新しい方法では通信印刷と発送費用ともに費用削減をしました。今後とも経費削減に努力いたします。(事務局)

■編集後記：今号は通常より増ページしてお届けします。奨学金授与式のスピーチや里子の手紙を読むと、青葉から巣立ち、社会で活躍し始めた奨学生の姿が目にとまります。5 月開催の会員総会では 2 人の留学生がスピーチします。ベトナムの将来を担うために頑張る若者の姿を是非ご覧ください。(望月)

ベトナム子供基金事務局長募集

現事務局長は 2007 年総会で、任期満了になります。これにともない、ベトナム子供基金は、支援活動のリーダーとして汗をかいてくださる事務局長を募集します。

アジア文化会館内事務室に毎週 2～3 日勤務していただきます。簡単な事務作業で

すが、パソコンが使えることが必要です。子供基金の新しい発展に皆さまのご協力をお願いします。

応募は、電子メール、手紙、ファクスなどで事務局までご連絡くださるよう、お願いします。(飯田)

■ご入金報告

ご支援ありがとうございます(敬称略)。

2006 年 12 月

2007 年 1 月

2006 年 2 月

●最終入金日のお知らせ：里親基金と一般基金の最終入金日を封筒の宛名ラベルに表示しました。表示は「会員番号 (KD-×××) 年/月/日」となっています。次回ご入金の参考にしてください。

■2007年3月20日現在の会員と奨学生（里子）：

里親基金：208人（288口）、一般基金：34人（36口）＝青葉奨学生413人

ベトナム子供基金10周年記念事業

ベトナム黄梅基金 1口1万円	ベトナム子供基金の会員で基金を設立します。	お申し込みは次の専用口座にお願いします。 口座名義「ベトナム子供基金」 郵便振替 00190-6-666994 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 支店番号 559 普通預金 8071959
個別黄梅基金 1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立します。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上、決定します。	
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、個人またはグループで学校建設と黄梅基金を併設した基金を設立します。	

ベトナム子供基金会員募集

里親基金 年額1口 2万円	特定の「里子」に奨学金を支給する里親になっていただけます。ベトナム青葉奨学金から子どもの履歴票が届き、子どもとの手紙のやりとりができます。（学生会員は年額1口1万円）	会費納入は次の口座にお願いします。 口座名義「ベトナム子供基金」 郵便振替 00140-1-70399 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 支店番号 559 普通預金 1495745
一般基金 年額1口 1万2000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。子供基金通信によって、会の運営、子どもたちの様子をお伝えします。	
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数等、いっさい自由です。	

ベトナム子供基金

東京都文京区本駒込 2-12-13
アジア文化会館内 〒113-8642

電話（代表）：03-3946-4121

ファクス：03-3946-7599

電子メール：kodomu.kikin@nifty.com

ホームページ：http://homepage3.nifty.com/vcf/

ベトナム青葉奨学会

QUY HOC BONG LA XANH

c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU

43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan

Ho Chi Minh, Viet Nam

電話：84-8-8477359

ファクス：84-8-8477527

ベトナム子供基金通信 第39号 2007年4月21日発行 発行所：ベトナム子供基金

発行人：近藤昇 編集人：望月良憲 印刷所：株式会社プリントン © Vietnam Kodomo Kikin 2007